

【理科】 作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

科学的な自然観を育成するための各領域における特徴的な見方

- エネルギー（主に、物理）：量的・関係的な視点
- 粒子（主に、化学）：質的・実体的な視点
- 生命（主に、生物）：多様性と共通性の視点
- 地球（主に、地学）：時間的・空間的な視点

※試行調査の検証・分析の結果及び高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

| | 課題の把握 | 課題の探究（追究） | | 課題の解決 | |
|--|--|--|---|--|---|
| | 抽出・整理した情報について、それらの関係性や傾向を見いだすとともに、課題を設定することができる | 見通しをもち、検証できる仮説を設定し、それを確かめるための観察・実験の計画を評価・選択・決定することができる | 観察・実験等の結果を分析・解釈することができる | 仮説の妥当性を検討したり、考察したりすることができる | 全体を振り返って推論したり、次の課題を発見したり、新たな知識やモデル等を創造したりすることができる |
| 大学入学 共通テスト において 問いたい 「思考力・ 判断力・ 表現力」 | 図・表や資料等から、自然の事物・現象に係る情報を、原理・法則に従って抽出し、関係性などを発見することができる | 自然の事物・現象に係る仮説を立証するため、原理・法則に従い、その方法・過程などを決めることができる | 自然の事物・現象に係る基本的な概念と、観察・実験等の結果などから得た情報を、原理・法則に従って統合することができる | 観察・実験等の結果から考察した情報と、自然の事物・現象の基本的な概念との整合性を、原理・法則に従って判断することができる | 自然の事物・現象の基本的な概念を基に、見いだした課題について、原理・法則に従って推論することができる |
| | 図・表や資料等を基に、設定した条件で自然の事物・現象に係る情報を、原理・法則に従い、整理することができる | 自然の事物・現象の基本的な概念を活用し、原理・法則に従って新たな情報を基に仮説を立てることができる | 自然の事物・現象に係る基本的な概念を基に、原理・法則に従って情報を一定の条件で処理することができる | 自然の事物・現象に係る新たに得た情報と、結果などから得た情報を、原理・法則に従って統合することができる | 探究活動を振り返り、自然の事物・現象に係る新たな課題について、原理・法則に従って再設定することができる |
| | | 自然の事物・現象に係る情報を検証し、設定する条件などについて、原理・法則に従い判断することができる | 新たな情報が、自然の事物・現象の基本的な概念によって、原理・法則に従い、説明できることを見いだすことができる | 自然の事物・現象に係る様々な情報を、原理・法則に従って整理するときの根拠を見いだすことができる | |
| | | | 自然の事物・現象に係る基本的な概念及び観察・実験の結果などを、原理・法則に従って比較分析することができる | 自然の事物・現象に係る数値的処理を一定の条件で行い、その結果を基に、原理・法則に従って考察することができる | |
| | | | 自然の事物・現象に係る値について、原理・法則に従って処理し、グラフ等を活用して分析することができる | | |